

県民生活基本調査（案）

【設問〇】生物多様性についてお伺いします。

「生物多様性」とは、様々な生き物が個性を持ち、バランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいいます。私たちの普段の生活はこうしたバランスやつながりによって支えられていることを指します。

特に、本県の自然環境は、多くの自然公園を持ち、多くの種が生息・生育しているなど、全国的に恵まれた環境となっています。

一方で、イヌワシなど800を超える種が、いわてレッドデータブックにおいて絶滅危惧種やこれに準ずる種とされるなど、開発による自然環境の消失、手入れ不足による自然の質の低下、外来生物等による在来の生態系のかく乱、地球温暖化などの影響により、生物の多様性が大きな危機にさらされています。

私たちは、こうした生物多様性の危機を知って、保全するための取組を積極的におこなっていくことが必要となっています。

【問1】あなたは、生物多様性という言葉聞いたことがありますか。

（あてはまるもの1つに○をつけてください。）

1. 聞いたことがある 2. 聞いたことがない

【問2】以下の行動は、生物多様性の保全につながるものですが、あなたが実際に行っている（参加した）ものがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。

生物多様性の保全につながる活動	取組の頻度		
	いつも取り組んでいる	ときどき取り組んでいる	ほとんど取り組んでいない
① ハイキングなどにおけるごみの持ち帰りや動植物を持ち帰らないなどのマナー遵守	1	2	3
② 自然観察会又は自然環境体験活動への参加	1	2	3
③ ペットを野外に放さないなど責任を持って飼育	1	2	3
④ 森・川・海・里等におけるごみ拾いなどの清掃活動	1	2	3
⑤ 植樹や下草刈りなど森林づくり	1	2	3

生物多様性地域戦略に基づく具体的な取組（案）

【取組方針（案）】

生物多様性地域戦略の取組の一環として、重要な基礎データの集約や地域戦略の周知を行うとともに、本県の豊かな生態系を適切に保全しつつ、自然公園等の利用促進による県民が自然とふれあう施策を積極的に展開する。

- 1 生物多様性地域戦略の周知と基礎データの更新
- 2 生物多様性保全上重要な地域の保全
- 3 生物多様性の持続可能な利用の促進

【具体的な取組（案）】

1 生物多様性地域戦略の周知と基礎データの更新 新規

- (1) 生物多様性地域戦略の周知
- (2) 生物多様性保全上重要な基礎データ（岩手県自然環境保全指針等）の更新

岩手県自然環境指針－1 km四方のメッシュ毎に希少種や植物などのデータにより当該地域の自然環境を評価したもの。現在の岩手県自然環境指針のデータのままだでは、農林水産部及び県土整備部が施行する公共事業の環境保全対策に影響を及ぼすおそれがあることから、現状を適切に反映したデータへの更新が必要

2 生物多様性保全上重要な地域の保全 新規

- (1) 生物多様性保全上重要な地域の選定作業
- (2) 生物多様性保全監視活動の展開
- (3) 選定された重要な地域における保全活動の支援

3 生物多様性の持続可能な利用の促進 一部新規

- (1) グリーンボランティアによるマナー啓発等
- (2) 登山者等の安全・安心
モバイル登山届システムの普及促進
- (3) 生物多様性地域戦略シンポジウムの開催 新規

「十和田八幡平国立公園八幡平地域指定60周年」、「山の日施行記念」等として開催